

Workshop between Tsinghua University and Institute of Fluid Sciences, Tohoku University 報告書

開催日時： 2011年2月21日 - 22日

開催場所： School of Aerospace, Tsinghua University

参加者： Heat Transfer groups of School of Aerospace, Tsinghua University
所属教員・学生および東北大学流体科学研究所教員・学生

参加人数： 65名（内 外国人55名）

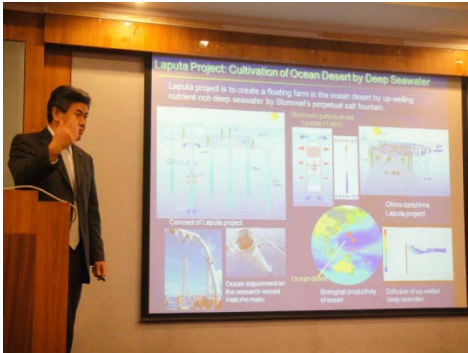
2010年度の清華大学－東北大学流体科学研究所間ワークショップが2011年2月21日－22日の2日間にわたって中国・北京の清華大学にて開催された。参加者は主として清華大学熱工学研究室の教員および学生であったが、流体研側からも7名の参加があった。本ワークショップは今回を含めて3回目の開催となる。開催地を日本・仙台および中国・北京で交互に受け持ち、主として流動ダイナミクスに関する研究発表および意見交換を行っている。本年度は特に熱流動およびマイクロ・ナノ流動に焦点を絞った研究発表がなされた。発表は清華大学側から9件、東北大学側から7件あり、活発な議論がなされた。発表は両大学の教員のみではなく、大学院学生も数多く行った。質疑応答では学生が積極的に質問をし、発表者はそれに対して丁寧に回答する場面が数多く見受けられた。研究に関する意見交換だけではなく、日本人大学院学生にとっては国際会議の公用語である英語での応対を学ぶことができたワークショップでもあった。

研究発表終了後は、研究室見学ツアーおよび清華大学内のキャンパス見学が催された。熱工学研究室の実験室内にある各実験装置について、担当学生から説明を受け、その後色々と質問をし、また広大な清華大学内の歴史的価値のある建物を見学した。

2月21日の懇親会では、それぞれの大学から学生代表がスピーチを行い、学术交流の他、文化交流も行うことができ、これから研究分野を担っていく若手研究者および参加学生にとっては大きな経験となったことと思われる。



清華大学教員と東北大学からの参加者



東北大学 圓山教授の講演



清華大学学生の講演



ワークショップ会場 1



ワークショップ会場 2



研究室見学



懇親会での学生スピーチ